

学習課題（中学校1年生）



【国語】

<内容>

○教科書の「漢字の組み立てと部首」（P41～42）を読んで、気付いたことや考えたことをまとめよう。

<取り組み方>

- ① 教科書の「漢字の組み立てと部首」を読み、呼び名や部首について理解しよう。
- ② 教科書P41 下段とP42 上段の表に示されている部首について、「漢字の例」を一つずつ加えてみよう。また、表に示されていない部首を三つ挙げて、「漢字の例」を書き出してみよう。

※辞書、辞典、インターネットなどで調べられる人は調べてみよう。

- ③ 教科書P42の「練習問題」に取り組もう。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

学習課題（中学校1年生）

【社会】

<内容>

【3回連続で取り組んできた課題の最終回です。下記の<取り組み方>に示された方法に沿って取り組みましょう。】

さまざまな視点をもとにヨーロッパ州をとらえる活動を通して、「ヨーロッパ州とはどのような州であるか」について、取組シートやノートにまとめてみよう。

<取り組み方>

- (1) ヨーロッパの環境問題について、教科書P76～77や地図帳を参考にしながら調べ、取組シートやノートに記述しましょう。
- (2) (1)の学習課題及び過去2回の学習課題において、さまざまな視点からヨーロッパ州について整理をしてきました。それらをふまえながら、「ヨーロッパ州とはどのような州であるか」について、取組シートやノートにまとめてみましょう。

<学習のヒント>

- (1)については、環境問題の状況のみならず、「環境対策」についても着目しましょう。
- (2)さまざまな視点に共通することがあれば、それを中心にまとめてみましょう。

学習課題（中学校1年生）

【数学】

<内容>

2つの数量の関係を等式や不等式で表そう。

～ $2(a+b) \leq 32$ は、どんな数量の関係を表しているかな～

<取り組み方>

- ① 教科書 P92 の Q の □ にあてはまる等号や不等号を書き入れよう。
- ② 「AはBと等しい」「CはDよりも大きい」「EはFよりも小さい」「GはH以上」「IはJ以下」を等号や不等号を使って表してみよう。
- ③ A～Jにあてはまる数量（等しい2つの数量、大小異なる2つの数量）が身近にないか、探してみよう。見つけた2つの数量の関係を、下の例にならって、等号や不等号を使って、「言葉の式」で表してみよう。

例：「鶏肉の重さ（A）は豚肉の重さ（B）と等しい」

→ （鶏肉の重さ）＝（豚肉の重さ）

「テーブルの値段（E）は、椅子4脚の値段（F）よりも安い（小さい）」

→ （テーブルの値段）＜（椅子4脚の値段）

- ④ 次の(1)～(2)の数量の関係を、図で表してみよう。また、等式や不等式で表してみよう。
 - (1) x mLの水を y mL 使うと、残りは 100mL になった。
 - (2) 映画館の入館料が、大人1人 a 円、子ども1人 b 円するとき、大人2人と子ども1人の入館料の合計は 1000 円未満になった。
- ⑤ 教科書 P95 の **問5** に取り組もう。（家の人に説明してもよいです。）

<学習のヒント>

- ① 等号「＝」、不等号「>」「<」のいずれかを使います。左右の式をそれぞれ計算し、等しい場合は「＝」、どちらかが大きい場合は「>」「<」を使おう。
- ② 等式や不等式で、等号や不等号の左側の式を「左辺」、右側の式を「右辺」、左辺と右辺を合わせて「両辺」といいます。両辺が等しいのか、左辺と右辺ではどちらの数量が大きいのかに注意して、それぞれの数量の関係を式で表してみよう。

「以上」「以下」は、「 \geq 」「 \leq 」を使って表します。「 \geq 」「 \leq 」も不等号といい、これらの記号を使って数量の関係を表す式も不等式といいます。
- ④ 教科書 P93 の **例1** を参考にして、図で表したり、式で表したりしてみよう。

「未満」は「～より小さい」という意味でしたね。
- ⑤ (2)は、右辺が表す数量の単位に気を付けよう。

学習課題（中学校1年生）

【理科】

<内容>

◆混合物と純粋な物質を分けるにはどのような方法があるか考えてみよう。

<取り組み方>

- ① 「混合物」「純粋な物質」について用語の意味をまとめてみましょう。
- ② 混合物を分ける方法を考え言葉であらわしてみましょう。
 - ・水とかたくり粉
 - ・水と塩化ナトリウム
- ③ 「水」と「エタノール」のように、液体どうしの混合物を沸点の違いに着目しながら分ける方法として「蒸留」があります。教科書 P169～170 の実験 8 の内容をまとめながら、「蒸留」について確認をしましょう。

<学習のヒント>

- ① 教科書 P155 を参考にし、図 43 に出てくる物質の例も利用しましょう。
- ② 水に「とける」「とけない」に着目して考えてみましょう。教科書 P152 や P167、7月 20 日～7月 30 日の学習課題を参考にしてみるのも良いでしょう。
 - ・かたくり粉 ⇒ とけない
 - ・塩化ナトリウム ⇒ とける
- ③ どのような方法で実験を行い、水の沸点が 100℃、エタノールの沸点が 78℃という違いからどのような結果になるかという部分に着目して、自分なりに予想をしながらまとめていきましょう。

学習課題（中学校1年生）

【英語】

<内容1>

教科書 P38 の Basic Dialog を読んで、次のことに取り組みましょう。

<取り組み方>

(1) 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう

★音声を聞きながら取り組む課題です。

①右のQRコードを読み取り、Program 4-①の Basic Dialog（教科書 p38）の音声を聞きましょう。



②どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。

③青色やオレンジ色のパートになりきって、セリフのどの部分が相手にしっかり伝わりとよいかを考え、工夫して読んでみましょう。

※QRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。

http://www.kairyudo.co.jp/contents/05_kyoiku/support/chu/eigo/jidoseito/202004.htm

★音声がなくても取り組むことができる課題です。

①どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。

②会話文を声に出して何度か練習してみましょう。

③青色やオレンジ色のパートになりきって、セリフのどの部分が相手にしっかり伝わりとよいかを考え、工夫して読んでみましょう。

<内容2>

教科書 P39 では、マイク、由紀、武史の3人がおしゃべりをしています。会話を読んで、(2) (3) (4)に取り組みましょう。

<取り組み方>

(2) マイク、由紀、武史のそれぞれの日曜日の過ごし方について、日本語で「取組シート」または「家にあるノート」に書きましょう。

(3) 次の質問に、あなた自身のことについて、声に出して英語で答えてみましょう。

What do you usually do on Sunday?

挑戦問題

(4) (3)で答えたことを、英語の文の書き方に気を付けて「取組シート」または「家にある英語のノート」に書いてみましょう。

<学習のヒント>

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

<配信内容>

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」

「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」「気分」など



※「取組シート（外国語）」は、札幌市教育委員会ホームページからダウンロードすることができます。